

2023

令和5年4月19日

第4号

(通算50号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!

2026年、県立IT短大は「大学校」に変わります。



1 危険を予知し安全運転!

4月18日(火)に交通講話が実施され、小林崇浩警部補(水戸警察署交通第一課企画・安全係長)からお話を頂きました。

交通事故における人的要因(ヒューマンエラー)は、「認知」「判断」「操作」のミスがあげられ、精神的には、「焦り」「疲れ」「怒り」「驕り」の状態も起因するとのことでした。

ハンドルを握った瞬間から加害者になるとの意識を持って、他者のあらゆる行動を予測し、周囲に対する注意を怠らない事が大切とのことでした。

4月は、小学校へ入学する新一年生や進学して自転車で通い始める中学生など、道路環境に不慣れな児童や生徒が通学しています。「かもしれない運転」を励行し、事故防止に心がけましょう。



交通講話の実施風景

2 N1目指す二人の留学生!

本校では、外国人留学生のための日本語講座を開設し、インドネシア教育大学での日本語指導や、異文化コミュニケーションに造詣の深い、茨城大学の金本節子名誉教授が担当となります。

この日は、笠間焼や筑波山など茨城県内の主な観光スポットについて、楽しく情報交換が行われました。

二人のインドネシア留学生が目指す日本語能力試験のN1(日本語能力試験の最上位レベル)の合格に向け、本紙の英訳にもチャレンジしていました。



留学生のディアナさん、金本節子名誉教授、留学生のシハブさん(左から)

【日本語能力試験 N1】

○幅広い場面で使われる日本語を理解することができる

○読む 幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。さまざまな話題の内容に深みのある読物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。

○聞く 幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成を詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。

※ 国際交流基金と日本国際教育支援協会のWebページより

3 応援メッセージ! ①

本年度、第一回の応援メッセージは、お隣の県立水戸高等特別支援学校から頂きました。生徒の社会的・職業的自立に向けた教育推進を目指す学校です。

本年度、着任された宮山敬子校長は、子どもたちの無限の可能性を信じ、さらに可能性を広げて社会に送り出すため、「Sky's the limit.」を掲げています。

これは、英語のことわざで、「空のように無限」という意味だそうです。子どもたちの可能性は、空のように無限であり、それを支えていく学校です。

本校にも温かいエールを頂きました。



県立水戸高等特別支援学校

Mito Fudou Special Education School



宮山敬子 校長

ITから創造した未来へ



茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029-269-5500